

研修医だより

H24年 1月号
発行：臨床研修室
NO. 4

H23年3月に当院にて初期研修を修了しました川口英明先生からの近況報告です。ご一読ください。

大浜第一病院で研修医としてお世話になりました川口英明です。
その節は本当に有難うございました。

一昨日、東京大学医療情報経済学教室（現在、医学部研究生として在籍している教室）の博士課程入学試験の合格発表があり、合格しており来年度からも引き続き現在いる教室で本格的な博士課程の大学院生として精進していくこととなりました。

沖縄で行った事と変わらないではないか、と思われるかもしれませんが、割と進路について紆余曲折ありましたので、それに関して自分のあり方含めご報告させていただきます。

4月から5月にかけては、正直「なにやっていいかわからない」状況だったのですが、根底にある「国家ベースでの医療関係の仕事に携わり、自分の能力を一番日本の医療に寄与できるところに身を置きたい」という意向と最もマッチする場所を探しました。

現教室の勉強会や、公衆衛生大学院の授業の聴講、また個人でのプログラミングやデータベース設計の学習塾、統計ソフトの活用、医療経営や医療情報の資格など、幅広く活動しているうちに、「現教室で研究を続ける」「医系技官として厚生労働省で来年度から働く」の2つに6月には絞り込みました。

夏くらいまでは直接国政に関わることでできる「医系技官」の方に惹かれており、医系技官が少ない現状からか諸先輩方からもオファーを頂き、自分の能力を生かせるかなあ、と思っておりました。

しかし、8月くらいになると上記の勉強が進むにつれ、最初は訳が分からなかったことがだんだんわかるようになり、知識欲といいますが「もっと能力を伸ばしたい」という意欲の高まりが顕著になってまいりました。

医系技官の締め切りが9月頭だった事もあり、その際に「来年度からは博士課程で」と決断いたしました。

今現在は、知識データベース設計に当たる知識や、論理学を用いた機械学習に関する勉強、統計の中でも多変量解析を中心に教科書的な勉強を続け、同時にDPCデータベースを用いた大規模疫学に興味があるのでその研究室（現教室は「医療情報」という切り口で幅広く活動しております）の門をたたこうと考えております。

教室の方々も殆ど未習の自分に様々なアドバイスをくださいますし、非常に良い環境で充実した毎日を送っております。

今こうして周囲に感謝し、幸せな環境で過ごしているのも、ひとえに沖縄の研修医時代があったからこそだと強く思っております。

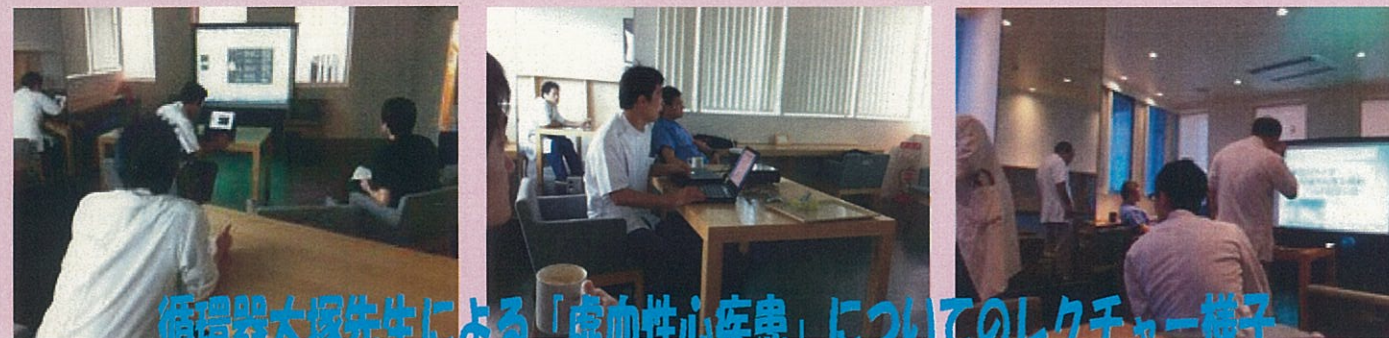
本当に有難うございました。

また、院試の結果発表があり、少し時間が出来そうなので、近いうちに沖縄に足を運べたらと考えております。是非皆様のお顔を拝見したいと思っております。

今後とも、よろしくお願い申し上げます。

去年の11月より、研修医の先生方を対象に毎週水曜日7:30~8:00にモーニングレクチャーを行っております。2月は下記日程でレクチャーを予定しております。興味のある方は、久野までご連絡ください。

日時	レクチャー内容
2月1日(水)	「診断と検査」 外科大城先生
2月8日(水)	「おたふくかぜ」 小児科降旗先生
2月15日(水)	「眼科の救急」 眼科久志先生
2月29日(水)	「救急」 救急総合診療科入江先生



循環器大塚先生による「虚血性心疾患」についてのレクチャーの様子

医局新年会



整形外科医全員集合!



みんなで一緒にピース



大御所先生方集合!

研修医スケジュール

期日	時間	内容	場所
2月1日(水)	12:45~	群星センター長回診	シュミレーション室
2月22日(水)	12:45~	群星教育回診 (Dr. Tazuke)	シュミレーション室
	19:00~	教育セミナー (Dr. Tazuke)	ふれあいセンター
	20:30~	交流会 (Dr. Tazuke)	レストランセンター

2月1からの初期研修医の研修診療科です。

松本 航先生→沖縄協同病院(小児科)

柴田 幸昌先生→系数病院(産婦人科)

坂本 承先生→消化器

神谷 雅明先生→麻酔科

皆様、新年あけましておめでとうございます。

去年は、初期研修医1年目の神谷先生・坂本先生が入职し、今年は3名の学生とフルマッチする事ができました! 本年も、皆様のご支援ご指導の程よろしくお願い申し上げます。